

請願の採択を求める討論 さいとう愛子議員 (3月19日本会議)

学童保育の障害児対応補助金の上乗せはぜひとも必要

11月議会閉会から2月議会開会までの閉会中に、各委員会で請願審査が行われ、日本共産党が採択を求めたにもかかわらず、「不採択」や「審査打ち切り」となった請願について、本会議での採決が行われました。このうち、「安心できる年金制度の実現を求める意見書提出に関する」請願のうち、「マクロ経済スライドの廃止を求めること」と、「現行の年金積立金の株式運用を厳しく制限することの項目」についての、さいとう愛子議員の討論と結果を紹介します。



89か所121人の障害児が利用

現在、市内の学童保育所には89か所121人の障害児が入所しており、入所している人数は、1人が64か所、2人が19か所で、3人が5か所、4人が1か所です。

障害児入所が1人でも2人でも職員1名増、3人以上は何人入所でもさらに1名増だけ

名古屋市は、国の基準で障害児の受入れの対応をしており、障害児2人まで職員1名、3人以上は何人受入れても、もう1名だけ職員をふやす補助金を助成するという基準です。2人目の障害児を受け入れても、職員の配置は増えません。

2人目入所に躊躇する学童も

ある学童では、今年2年生の障害児を1人受入れているが、新年度さらにもう1人の障害児の入所の問い合わせを受けて、補助金の増額がない中、どう体制をつくるか、たいへん苦慮しているそうです。

1対1の対応を

子ども集団の中では、自分の気持ちをうまく伝えられなかったり、そのためにパニックを起こしたりといろいろなことが起きます。1対1で対応してくれる大人がいることで、感情をコントロールすることが苦しい子どもも落ち着くことができ、仲間同士、みんなとともに育ち合うことができます。

障害児待機につながる

障害児2人目の受入れに伴う職員配置がないことは、2人目の受入れを躊躇させ、障害児の待機児童を生むことにもつながりかねない大きな問題です。

2人目から追加できるよう請願採択を

学童保育の現状に寄り添って、2人目からの受入れにも職員を配置することができるよう請願の採択をもとめます。

自・民・公・減が不採択に

採決の結果、自・民・公・減の多数で不採択になりました。

請願審査の結果 (2018年3月19日)

請願名	各会派の態度				
	共	自	民	公	減
国民健康保険制度、高齢者医療制度及び介護保険制度の改善を求める請願 (うち第4項)	○	●	●	●	●
子供たちが健やかに育つために、休日保育事業、病児・病後児デイケア事業及び一時保育事業の拡充を求める請願 (うち第5項)	○	●	●	●	●
マクロ経済スライドの適用を中止することを求める意見書提出に関する請願	○	●	●	●	●
小学校給食調理業務の民間委託撤回を求める請願	○	●	●	●	●
子供たちが健やかに育つために公的保育制度の整持を求める請願 (うち第1項、4項、6項、7項(1)(4)、8項(3)、9項(2)(3)(4)(7)エ)	○	●	●	●	●
全ての子供たちが豊かに育つ条件を平等に保障し、保育士の抜本的な処遇改善で保育を豊かに広げようを求める請願 (第2項、3項)	○	●	●	●	●
私立高校生に対する授業料助成の堅持・拡充を求める請願・・・【財政を助成して採択】	○	○	○	○	●

○=賛成 ●=反対や審査打ち切り 共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ